

徳之島事務所（令和 8 年 6 月分）管内情勢

農林水産業関連

1 徳之島に新たな担い手が誕生、関係機関で励ます

6 月 19 日（金）に伊仙町中央公民館で、地域の先輩農業者や関係機関・団体が「新規就農者励ましの会」を開催し、新規就農者 6 名を含む約 60 人が出席した。今年度の対象者は徳之島町 2 人、天城町 4 人、伊仙町 2 人の計 8 人で、さとうきび、ばれいしょ、畜産などの主要品目をはじめパッションフルーツなどの施設園芸やかぼちゃなどの露地野菜の生産に取り組んでいる。会では、伊仙町長や大島支庁徳之島事務所長より激励の言葉が贈られ、新規就農者からは営農に向けた意気込みが語られた。新規就農者が地域の新たな担い手として定着・活躍し、徳之島の農業のさらなる発展への貢献が期待される。

2 担い手農家の確保・育成体制の強化

農業普及課では、令和 8 年度普及指導計画の重点活動として、「徳之島農業を支える担い手の育成」を課題に挙げ、認定農業者や経営体、青年農業者、女性農業者などの確保・育成に取り組むことにしている。活動を効率的に進めるためには、町との連携・情報共有が重要であることから、年度当初に徳之島各町の担い手農家育成担当者との打合せを行った。打合せでは、各町の取組状況、課題及び支援対象（候補）農家のリスト整備等について情報共有を行い、今後の支援方針について認識の共有を図った。

また、徳之島全体で取り組むべき共通課題について、徳之島地域総合営農推進本部担い手部会で検討する必要性を説明し、担当者会を定期的で開催することとなった。今後は、担い手部会での検討を基本に、各町との連携を強化し、担い手農家の確保・育成に取り組む。

3 R8年度第1回牛飼い塾を開催

6月16日（水）に徳之島中央家畜市場で、R8年度第1回牛飼い塾を開催し、島内の繁殖牛農家や関係機関・団体計33名が参加した。今回は県肉用牛改良研究所の池畑室長から、「受精卵移植の活用及びゲノミック評価」について講演があり、農業普及課からは「飼料用トウモロコシ給与調査結果とその利用について」の研修を実施した。受精卵移植やゲノミック評価の活用方法、飼料用トウモロコシの給与効果について理解を深める機会となり、参加者からは今後の経営や飼養管理の参考になったとの声が聞かれた。